



■今月の表紙

ユニークベニュー：姫路城

日本で現存する最大規模の城郭建築であり、巧妙な縄張りや多様な石垣、連立する大天守、小天守、渡櫓など、日本の城の魅力が凝縮されている「姫路城」。その美的完成度が、わが国の木造建築の最高の位置にあり、世界的にも他に類のない優れたものであることが評価され、1993年に日本で初めて世界遺産に登録された。

この姫路城をはじめ、姫路城西御屋敷跡庭園好古園、姫路市立美術館等、歴史的、景観的に価値ある施設を多く有する姫路市では、他都市にはない姫路市ならではの独自性のあるユニークベニューとして開放。国内外のMICEグループによる活用を通じ、姫路市の魅力発信と地域活性化に繋げようと、具体的な施設利用の仕組みを「ユニークベニュー HIMEJI プラン」として制度化し、MICE開催を推進している。

また、2021年秋には、新たなコンベンション施設「姫路市文化コンベンションセンター」がオープン。新幹線のぞみ停車駅であるJR姫路駅から屋根付き連絡通路で徒歩約10分とアクセスがよく、2,000席のホール、4,000㎡の展示場と10室の大・中・小の会議室を備え、これまで受入れが困難であった大規模なMICE誘致が可能となる。

さらに、姫路市は観光庁の今年度事業である「コンベンションビューロー機能高度化事業」の支援対象都市に採択され、誘致・開催支援体制づくり、環境づくりに積極的に取り組んでいる。

4 ● 視点／インバウンド

6 ● KOREA MICEレポート①／グローバルビジネスハブをめざす韓国で第20回を迎えた「KOREA MICE EXPO」
35ヵ国から250人のバイヤーを集め開催

12 ● 展示会開催情報：台湾・台北／FOOD TAIPEIを柱に関連5展が同時開催
オープンしたての南港展覽館ホール2も利用し規模がさらに拡大

14 ● レポート／日本刀に秘められた魅力と文化 TOKYO cool traditions
～東京ユニークベニュー ショーケースイベント「刀剣博物館」～

16 ● 寄稿／「地域メンバーとしての MICE施設の取り組み」
後編：大型公共MICE施設（名古屋国際会議場ほか）
（一社）MICE総研 上席研究員／
京都大学経営管理大学院 博士後期課程 西本 恵子 氏

18 ● NEWS／UFI(国際見本市連盟)発行
World Map of Exhibition Venues 2017年版
(2018年12月改訂)で見る世界の展示会場
～(一社)日本展示会協会が抜粋翻訳を発表～

20 ● SPOT／木材使用の人に優しい空間を演出した展示ホール
東京ビッグサイト常設棟「南展示棟」がオープン

21 ● SPOT／シーザーズ・エンターテインメント
ラスベガスに3億7,500万ドル規模のシーザーズ・フォーラムの棟上げ
～2020年3月末までに約5万1,000㎡のカンファレンスセンターがオープン～

22 ● 募集／(株)東京ビッグサイト企画
『ユーロショップ2020』視察ツアー参加者募集を開始
～ドイツ・デュッセルドルフ、ウィーン7日間～

23 ● 連載 Meetings Imagined／未来のミーティング
マリオット・インターナショナル 日本グローバルオフィス
セールスマネージャー 田巻 絢子 氏

24 ● 連載／展示会マーケティング戦略セミナー～出展成果最大化の現場から～
「展示会とは・来場者とは何か」3)
「展示会来場者マーケティング」⑬ 施策の〈表情〉について その28

26 ● 連載 イベント・マネジメント 誌上セミナー／顧客データの管理と段取り力
跡見学園女子大学 非常勤講師(イベント論) 宮地 克昌 氏

29 ● DMC通信／チヌの散歩 30 ● MICE映画館 28・50 ● 北から南から

31 ● 全国会場別MICEスケジュール